

# 草津キャンプ報告 in 2009

Friends international work camp (FIWC) KOREA



2009年4月発行：FIWC 関東委員会韓国キャンプ

## もくじ

- 1、はじめに
- 2、キャンプ概要
- 3、国立療養所栗生楽泉園について
- 4、キャンプ内容詳細
- 5、キャンプ感想文
- 6、メンバー紹介
- 7、会計報告



(藤田三四郎さん宅にて)

## はじめに

今回の草津キャンプが成功したことは FIWC 関東委員会韓国キャンプにとって、  
新しく踏み出した大きな一歩となった。

一昨年の夏のキャンプでは日本からの参加者がわずかで、  
日韓合同キャンプという形も存続できるかわからない状況だったが  
昨年のキャンプでは参加者に今までにはない変化があった。  
学生中心にキャンパー募集していたものの、気が付くと参加者の多くを社会人が占めるようになっていた。  
キャンプ後の反省会で、それならばいっそのこと社会人でも参加しやすいキャンプにしておこう、  
という発想から今回の草津キャンプは生まれた。

社会人でも参加できるキャンプ。  
ワークはもちろんだが、学習や交流にも力を入れたキャンプを作っていきたいと思った。

その第一弾企画として栗生楽泉園の訪問が挙がった。

いままで韓国キャンプに参加したことがあるメンバー以外にも広く募集をし、  
興味を広げてもらおうという意図があった。  
結果的には初参加者が半数近くを占め、いままでハンセン病を詳しく知らなかった人々にも  
様々なことを感じてもらうことができたと思う。

まさに「今」学ばなくてはいけないハンセン病問題について、  
より多くの人にキャンプという実体験をしてもらうための組織として  
この草津訪問から韓国キャンプが動き始めた。

草津は本当に不思議なところだった。  
悲しみや憎しみ、閉塞感、孤独感。そういったイメージも残る。  
ただそれ以上に温かい場所だった。  
迎えてくれる人々の温かさ。  
草津のお湯の温かさ。  
人間のつながりの温かさ。

かつて忌み嫌われ人々が寄り付かなかった場所に、いまは人々が吸い寄せられるように集まって出会う。

キャンパーはもちろん初めて参加したメンバーや、  
いままで全く興味のなかった人々にもハンセン病の過去や歴史を知ってもらいたい。  
それ以上に草津の温かさを知ってもらいたいと思った。

これからの韓国キャンプの活動に大きな期待が持てるようになった二日間の草津キャンプだった。

## キャンプ概要

(西の河原公園)

- 日時:2009年3月14~15日(1泊2日)
- 場所:草津、国立療養所栗生楽泉園
- 目的:①国立ハンセン病療養所栗生楽泉園を訪問し、ハンセン病への理解を深める。  
②交流と学習を目的とした韓国キャンプの国内企画第一弾。
- 日程:一日目:草津栗生楽泉園訪問  
二日目:草津観光
- 参加人数:17名(学生、韓国人留学生、社会人)



(白根山)



(草津の町並み)



### ●キャンプ日程:

#### 一日目

- 7:45 新宿集合、嵐のため電車の遅延などで遅れての出発
- 14:00 栗生楽泉園到着
- 14:00- 自治会室で昼食をとりながら自己紹介  
自治会の鈴木幸次さん、自治会長の藤田三四郎さんと懇談
- 16:00- 文化交流館(資料館)→納骨堂→重監房跡見学  
河東三郎さん(「ある軍属の物語」作者)見舞い
- 17:00- 藤田三四郎さんのお宅訪問
- 18:00- 訪問者用宿舎へ  
義肢装具士山崎さんと夕食(お弁当)をとりながら懇談
- 20:00- 入所者の方も使用するお風呂(草津の湯)に入浴  
懇親会

#### 二日目

- 9:00- 鈴木幸次さんと懇談
- 10:00- 宿舎チェックアウト→自治会室へ挨拶→  
裾雄二さんお見舞い
- 11:00 栗生楽泉園を出発
- 11:30- 「西の河原公園」(温泉)入浴
- 12:30- 草津観光、昼食
- 15:30 草津出発
- 20:00 新宿着、解散

## 国立療養所栗生楽泉園について

### ◆沿革

草津温泉がハンセン病に効くということで、戦国時代からハンセン病患者が集まっていた。草津町は健・病混浴を避けるため、明治 20 年草津町の一角をよぎる湯川の盆地沿いに、湯ノ沢部落を開村した。大正 5 年イギリス人コンウォール・リー女史が、湯ノ沢部落に聖バルナバ病院を開いた。そして、温泉とともに治療施設があることで、全国各地から患者が部落に集まり、多いときには 800 余名の大集落を形成し、草津町と接するようになった。

昭和 7 年に栗生楽泉園が開設し、昭和 17 年末までに湯ノ沢部落からの移転が完了した。楽泉園は「南に浅間、西白根」の地唄のとおり秀峰を望み、空気清澄な高原の気候と豊富な湯量を活用した、高原温泉療養所としてすでに 70 有余年の歴史を有している。地元草津町との関係は密接であり、地元町民と入園者との交流は他の園に比べて極めて円滑である。

### ◆概況

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 1、入所者数 | 160 名 (H21 年 3 月 1 日現在)、平均年齢 81.5 歳 |
| 2、外国人  | 9 名                                 |
| 3、婚姻数  | 50 名 (25 組)                         |
| 4、職員数  | 256 名                               |
| 5、病床数  | 568 床                               |
| 6、建物数  | 237 棟                               |

### ◆生活

#### 1、療養生活

居住者は、独身、夫婦別によって各々1~2室の豊敷病舎で生活を営み、また不自由者（身体障害者や高齢者）はその症状の軽重により、不自由者棟で職員による日常生活の介護を受けている。療養生活に要する費用は全額国費で支弁されている。園の補助機関として入所者の選挙による自治会機関を設け、共同生活を律している。

#### 2、入所者給与金

入所者には、各種公的年金受給者を除き、国民年金法障害基礎年金 1 級相当額が支給される。

### ◆栗生楽泉園の今後

入園者の高齢化が進んでおり、入園者数は一方的に減少している。今後は地域住民と話し合い、老人ホームとしての活用や学習施設建設などを検討している。

## キャンプ内容詳細

### ■ 鈴木幸次さんの話

最初の自己紹介で我々が韓国での活動を行っているという話をしたことから、鈴木さんが韓国のハンセン病定着村を訪れたときの話をしてくれた。

韓国の定着村は小学校もないような厳しい条件の村があるという話だった。我々がこれまでキャンプを行ってきた定着村ではそこまでひどい村はなかったように思えた。韓国に 100 近くあるハンセン病定着村の中のほんの一部しかまだ見ていないのだと感じた。



### ■ 文化交流館(資料館)

資料館にはかつて園内で使われていた通貨(園券)や道具、また入園者の方の著作、工芸品などを展示している。

### ■ 納骨堂

かつて楽泉園では死体は焼かれずに崖から投げ捨てられていた。それを忘れることがないようにと、その崖の上に納骨堂は建てられている。大きな納骨堂の中には 1800 人のお骨が納められていて、そのほ

かに生まれる前に墮胎させられた胎児を供養する石碑も建てられている。



### ■ 藤田三四郎さんの話

三四郎さんはこの園に住む患者で作る自治会の会長をしている方で、「プロミン」というハンセン病の治療のために使う薬に関する話をしてくれた。

プロミンができるまでは開発中で安全性の確認も済んでいない薬を投薬されて死にそうになったことがあったそうだ。動物実験もしないままの投薬。人体実験、殺人行為だ。それから結核の薬として開発されたプロミンがハンセン病の治療に効くことがわかり、使用されるようになる。

これは特効薬として広まり、ハンセン病は治る病気となった。しかし治る病気となった以後も社会の目や法律は変わらなかった。科学的、医学的に解決できる問題が政治的にはなにも解決されぬまま時間が流れた。

三四郎さんは多くの若者に語ってきた。一人一人が政治を動かす力を持っている国で、それを使わないのはもったいない。

とにかく政治には参加してほしいというメッセージを最後にもらった。



(左:三四郎さん 右:門屋さん)

## ■ 重監房跡

ここ栗生楽泉園には重監房と呼ばれる施設がある。これは全国のハンセン病療養所内で素行の悪いとされた患者が送られてきて収容された建物だ。

雪深い草津の山の中に作られたコンクリート製の監房。暖房はなく、薄い布団と一日に二度のわずかな食事が与えられただけだったという。

確認したいのは、ここに収容された患者は凶悪な犯罪者では決してないということ。社会から隔離されていた療養所からの脱走を図ろうとした者や、療養所内でケンカをした者、職員に反抗した者などが入れられた。冬の寒さの中で凍死する患者も多かった。ここに入れられることがすでに間接的な死刑でもあったのだ。

竹やぶの道を抜けると重監房があったことを示す石碑とコンクリートの基礎だけがそこに残されていた。とても厚い壁だったことが太い鉄筋の残る基礎からわかる。監房の間取りはそのまま残っている。入り口から房にたどり着くまでには最低 3 つの扉を開けなければいけない。決して逃げられない場所であったことがわかる。

部屋は狭く、鉄格子の窓が一つあっただけで、そこにガラスなどはなく冷気を遮るものは無かったという。各部屋に設けられた便所は脱走防止のために深く掘り下げられていたということだ。



(重監房跡の石碑)

かず姉が話してくれる説明に全員で静かに耳を傾けた。3月でもまだまだ寒い。葉を落とした木々の間を寒風が通り抜ける。ここで、この寒さの中で、人々は震え、飢えに耐えながら、閉じ込められていたのだ。人間の恐ろしさと強さを感じるような場所だった。

## ■ 義肢装具士の山口さんの話

ハンセン病の症状として末端の知覚麻痺がある。そのため、たとえ火傷をしたり足に釘を刺しても痛みを感じずに気が付かないことがあり、そこが化膿して手足を切断することも多い。山口さんはここでそういった方への義手や義足を作る仕事をしている。

山口さんはミャンマーでも義肢や装具についての技術指導を行っている。

ミャンマーに日本からの援助で最新の加工機械や材料が送られて、現地の人々に技術を教えようとしたが、いざ機械を動かそうとしても電気がこない。一日に一時間ほどしかこなかったという。発電機を送ると、今度は燃料を買うお金がない。山口さんは一度その機械のことを忘れ、現地にある道具と、現地にある材料だけでできることを教えることをはじめた。技術を伝えるというよりは考え方を教える日々だったという。道具や材料が少なくても、必要としている人のことをよく理解して、その人の気持ちになって考えれば、必要とされるものは作り出すことが出来る。

山口さんは綺麗な白髪のでさらさらストレートヘアの男性だ。実は昔はバンドマンをしていて、いまでも月に一度ライブに出ているということだった。草津に来ることになったいきさつなどの話を聞かせてもらう中で話が盛り上がり、東京から車に忍ばせてきていたギターを出すと、弾いてもらえることになった。ギターも歌もとても上手で聞き入ってしまった。最後は「乾杯～ミャンマー語 ver.」を聞かせてもらい、後半はみんなで日本語で合唱した。



(ギターを弾く山口さん)

## キャンプ感想文



共に食べて語って歌って(山口さんの歌本当にかっこよかった!)  
飲んで、そして温泉に入ったあの場所は、また帰ってきたいと思  
える所です。

'事実を書いた。そうでなければ意味がない。読んでくれ'  
河東さんの病院訪問をさせてもらったときに、手を握ってそう言  
われ、さっそく読むことに。その本を読んで、なぜかハンセン病  
患者さんがうんと身近になった気がしました。それもこれもみな  
同じ場所を共有して話せたから感じた事だと思います。

皆さんどうもありがとうございました！本当によい時でした。

(大山由佳)

栗生楽泉園は自然にめぐまれていて広々とした所で、素敵な所だ  
と思いました。お話を聞かせてくださったり、療養所内を案内して  
もらい、人の優しさを全力で感じてました!!

重監房の跡地を実際に見たときは寒気が止まらず、社会差別の強い  
病気(ハンセン病)の対策として、医療にたずさわる人間が患者に懲  
罰を与え死なせたという歴史的事実があったことが本当に信じられ  
なかつたです。療養所を離れるとそこにはハンセン病問題のことな  
ど一かけらも存在しないかのような世界があるように感じました。

草津の温泉はとても気持ちよく心が和みましたよ!

みなさん、ありがとうございました。

(大山由貴)



一人で浴室に向かう。そこには一人の入所者の方が入浴中。  
もう50年以上ここで暮らしていると話して下さった。  
17歳の乙女盛りに発症して入所。それから50年以上って考  
えられない。

そこに、らい予防法の残酷さを垣間見た。

寒さは過酷な療養環境だったと思う。人里はなれた場所とい  
う意味でも。

でも、自然は癒しも与えてくれる。そういう意味ではいい場  
所に造られた療養所だと思った。

(菊池静華)



今回はとても良い経験をさせていただき、どうもありがとうございました。百聞は一見にしかず、やはり何事も体験が大切です。

今回の経験をバネに、もっともっと勉強したいと思います！  
どうもありがとうございました。

(三浦勇太)

本当に来てよかったと思った。企画から人集め、準備、車の運転、どれもこれもがここにつながっていた。楽泉園の風呂場の中でいろいろな人から聞いた話が巡る。こうやって若い人たちがこの場所に惹きつけられるように集まったのも不思議なものだ。

ワークキャンプっておもしろいな。

涼風にあたりながら風呂から戻った後、飲んだビールがまたうまいこと。貸切状態の宿舎でそれからさんざん飲んで語った。歌った。

ゲームした。キャンプの夜によくやるようなゲームだった。失敗した人の罰ゲームが「一気飲み」なところが韓国だった。もちろん大人なのでコップに半分も入れないのだけれど。

それでワインを連続で飲んだ。ところくらいまでしか覚えていない。コタツでそのまま寝てしまった。

(佐藤正明)



かず姉との衝撃の出会いのおかげで、今回の草津キャンプを実現することができた。スケジュールのすり合わせ、交通手段、予算 etc...やらなければいけないことが盛りだくさん。こういう企画運営に慣れていない私にとってはなかなかの大仕事だったけど、周りのみんなの協力で何とか当日にこぎつけることができた。そして療養所での新たな出会い。初めての草津。

療養所の方たちは色々な才能があったり、能力の高い人が多い。

かず姉曰く、彼らはハンセン病だったからこうなった、ハンセン病にかからなければこうはならなかったと言っているそうだ。ハンセン病に罹ったから、逆境の中

でそれぞれの能力を伸ばしていくことができた。ハンセン病は一つの個性なんだ。そんな風に思えた。

韓国キャンプのリーダーになってまだ数ヶ月。その数ヶ月で色々な人に会って、色々な経験をし、色々なことを学ばせてもらっている。社会人になってからもこんなに多くのことを学ばせてもらえるキャンプの存在が、本当にありがたいと思った。

(清水あゆこ)

## メンバー紹介

|                                                                                                                                             |                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <p>清水あゆこ（あゆ）<br/>2009年韓国キャンプリーダー。<br/>過去 FIWC 韓国・中国キャンプに参加。<br/>最近よく言う言葉は「大人が楽しい！」</p>                                                      | <p>佐藤正明（まーきー）<br/>参謀、広報担当。<br/>過去数回韓国キャンプに参加している、韓国キャンプの重鎮。好きなことはビール。</p>         |
| <p>菊池静華（しず姉）<br/>お料理番長、WEB 担当。<br/>2008年韓国キャンプに参加。韓国や韓流スター大好きで、スキあらば韓国に行っている。</p>                                                           | <p>南部里奈（りな）<br/>大蔵大臣、会計担当。<br/>2008年韓国キャンプに強行参加。あったかい空気をまとった癒し系。</p>              |
| <p>金岡弘美（ひろみ）<br/>切り込み隊長。<br/>過去数回韓国キャンプに参加している。特技はレーザービーム。</p>                                                                              | <p>亀井類（亀ちゃん）<br/>今回 FIWC のキャンプに初参加。まーきーの同士。<br/>お料理が得意で、パクチーを添えたアジアン唐あげが美味しい。</p> |
| <p>金森暁代（あきよさん）<br/>ハンセン病市民学会でまーきーと出会い、今回のキャンプに参加してくれた。途中からの参加にも関わらず、すっかり溶け込んでいた。</p>                                                        | <p>奥村浩毅（こーき）<br/>うっかり王子。<br/>過去中国キャンプに参加。若者達に「王子」と呼ばれ、すっかりその気になっていた！？</p>         |
| <p>三浦勇太（ゆうた）<br/>ダンス隊長。<br/>過去フィリピンキャンプに参加。気を抜くとダンスを踊っている根っからのダンサー。</p>                                                                     | <p>松井佳菜子（かなこ）<br/>2008年韓国キャンプに参加。今回急遽参加が決定し、神戸から駆けつけてくれた。誰よりも流暢な自己紹介に皆感服。</p>     |
| <p>大山由貴（ゆき）<br/>Tシャツ担当。ナースの卵。<br/>奇跡の双子の姉。誰よりも喋りがおもしろい。<br/>いろいろな意味ですごい。</p>                                                                | <p>大山由佳（ゆか）<br/>Tシャツ担当。アーティストの卵。<br/>奇跡の双子の妹。姉を冷静かつ忠実に支える。<br/>いろいろな意味ですごい。</p>   |
| <p>パクヒョジン（姉さん）<br/>韓国からの留学生。去年一年日本語学校に通い、今年から料理の専門学校に通う。みんなの姉さん。</p>                                                                        | <p>キムナヒョン（ナヒョン）<br/>韓国からの留学生。経済を勉強している。<br/>春から日本の大学に通う。</p>                      |
| <p>イソヨン（ソヨン）<br/>韓国からの留学生。化学を勉強している。<br/>現在は石川県の大学院へ通っている。</p>                                                                              | <p>キムヒョンチョル（ケンボ〜）<br/>過去数回韓国キャンプに参加。日本人より日本語に詳しい。女子よりもダイエットに詳しい。</p>              |
| <p>門屋和子（かず姉）<br/>今回の栗生楽泉園訪問の立役者。かず姉との出会いがなければ、草津キャンプは実現しなかったかもしれない。全国の療養所を回っていて、楽泉園はかず姉の庭。鈴木幸次さん、藤田三四郎さん、山口さん達との懇談のセッティングや楽泉園の案内をしてくれた。</p> |                                                                                   |

## 会計報告

### □ 収入金額

| 項目     | 内訳            | 合計       |
|--------|---------------|----------|
| 社会人    | ¥10,000×8人    | ¥80,000  |
| 学生・留学生 | ¥6,000×7人     | ¥42,000  |
| 途中参加2人 | ¥1,500+¥3,500 | ¥5,000   |
|        |               |          |
| 収入合計   |               | ¥127,000 |

### □ 支出金額

| 項目        | 予想支出     | 実費       | 備考           |
|-----------|----------|----------|--------------|
| レンタカー1台目  | ¥26,500  | ¥27,500  | 保険料+¥1,000   |
| レンタカー2台目  | ¥27,500  | ¥28,500  | 保険料+¥1,000   |
| 高速道路      | ¥12,000  | ¥11,200  | ¥3,000×往復×2台 |
| ガソリン代     | ¥10,000  | ¥9,104   | ¥5,000×2台    |
| 宿泊費(楽泉園)  | ¥5,250   | ¥5,950   | ¥350×17人     |
| お弁当代      | ¥10,500  | ¥12,600  | ¥700×18人     |
| 夜の酒・つまみ代  | ¥20,000  | ¥14,865  |              |
| 療養所へみやげ代  | ¥5,000   | なし       |              |
| 駐車場代      |          | ¥1,650   |              |
| 西の河原温泉代   | ¥7,500   | ¥7,650   | ¥450×18人     |
|           |          |          |              |
| 支出合計      | ¥124,250 | ¥119,019 |              |
| 収入ー支出(残金) |          | ¥7,981   |              |



(宿泊所にて、山口さんと)